

大河ドラマ「直虎」ゆかりの地



下市田 松源寺

主な内容

| | | | |
|----------------|--------------|----------------|--------------|
| 会長挨拶 | 光澤 武 2 | 「鹿沼と東京の繋がりが」 | 北原 春義 6 |
| 高森町長挨拶 | 熊谷 元 尋 2 | ふるさと高森町への思い | 気賀 沢明子 7 |
| 第28回定期総会 | 龍口 昭人 3 | 私の住んでいる町 | 木村 勇 7 |
| 総会・懇親会スナップ | 3 | 高森俳壇 | 酒井 弘司・選 8 |
| 平成29年度 高森会役員人事 | 4 | ふるさと自慢 | |
| 「ふるさと便り」 | 高森町役場 高田光祐 4 | 大河ドラマ「直虎効果」で | |
| 会員交流会 | | 南信州高森町の取り組み | 高森町役場経営企画課 9 |
| 「横浜名所巡りと昼食会」 | 平沢 洋 5 | 広告ページ | 10 |
| ふるさと春・秋の農作業支援 | 龍口 昭人 5 | 会員動向・お知らせ掲示板ほか | 11 |
| 会員広場 | | 編集後記 | 岩崎 邦彦 11 |
| 高森町の思い出 | 原田 和 昭 6 | 埼玉支部小景 | 龍口 昭人 12 |

会長挨拶

会長 光澤 武



皆様今日は、日頃は高森会の運営に際しまして、多大なご協力を賜り有り難うございます。

昨年度の会員交流会は、横浜で「午前観光コースと中華街での昼食会」を催し、大変好評でした。

今後、会員交流会は年に四回実施を企画します。

昨秋の十一月に予定しておりました「故郷訪問とりんご狩り」は、参加希望者が少なく、会長一人の表敬訪問だけとなりました。

今年度の「第二十八回定期総会とふるさと南信州の集い」は、お忙しい中を高森町からは、山田副町長・壬生経営企画課長・高田経営企画課員にご参列頂き、又多数の会員の皆様に参列頂きましたが44名の参加で、誠に寂しい限りでございました。このままでは会の存続が危ぶまれます。

どうか皆様、会の存続のための素敵なアイデアをお寄せ願います。

最後になりましたが、高森町の益々のご発展と、高森会会員の皆様のご健勝を祈願いたしまして、挨拶と致します。

高森町長挨拶

町長 熊谷 元 尋



高森会の皆さまには、ふるさと高森町に對しまして常に高配をいただきと共に、多くの会員の皆さまからご支援を賜っており、心より感謝申し上げます。

去る六月三日には、高森会の総会並びに交流会が、多くの会員の皆さまご出席の中、和やかな中にも盛大に開催されましたことを、心より喜び申し上げます。

七月一日に高森町は町制施行六十周年を迎えました。昭和三十二年に当時の市田村と山吹村が合併して以来、様々な困難を乗り越え今日を迎えることができました。これも多くの先人をはじめ、町民の皆さま、町に関わっていただいた皆さまが町の発展のために努力し、助け合いながら暮らしやすい町を築いてきてくれたからだと感じております。

さて、これまで微増してきた高森町の人口は減少に転じ、将来を担う子供の数も減っています。町では子育て支援を重点施策として、高森町出身の若者へのUターン・定住・起業・就労支援の充実を図ってまいります。特に子育て支援・福祉の分野では、今年度は丸山公園内に子育て拠点施設を建設します。さらに同公園敷地内には、民間事業者により、十月にサービス機能付き高齢者住宅および来年四月に産科クリニックの開設が予定されており、町の子育て支援事業や福祉事業と連携し、さらに子育てしやすい街へ向けて充実した事業の展開を進めてまいります。

また、リニア中央新幹線が、十年後に東京と名古屋間での開業が予定されており、下伊那地域でも工事が始まりました。高森町を含む飯田・下伊那は今後注目される地域となります。高森町の美しい景色を守りつつ、リニア開通を見据えたまちづくりを進めてまいります。

今年NHK大河ドラマ「おんな城主直虎」の影響で、直虎のいいなすけ、亀之丞ゆかりの地である高森町に多くの観光客が訪れています。今後ともぜひ多くの皆様に足を運んでいただければと思います。

リニア開通後も、町内外の皆さまから高森町が魅力的な、そして遠くにいらしても誇りに思っていただけの高森町を目指し、職員一丸となって取り組んでまいりますので、今後ともご支援ご指導の程よろしくお願い申し上げます。

高森会の益々のご発展と、皆さまのご健勝並びにご多幸を心からご祈念申し上げます。

高森会の情報はホームページでもご覧いただけます

南信州高森会 (関東地区)



南アルプス

ホームページアドレス

<http://takamori.la.coocan.jp/> 又は高森会で

ホームページの『掲示板』は
みなさんの情報交流の広場です

高森会 (関東地区) 平成29年度幹事役員のみなさん

高森会(関東地区)総会・懇親会



後列左から 後 沢 利 夫 中 平 秀 人 大 沢 章 雄 樋 口 茂 延 龍 口 昭 人 関 川 三 夫
 林 一 利 中 川 正 文 岩 崎 邦 彦 安 藤 達 夫 塩 沢 泰 弘
 前列左から 木 村 勇 平 沢 洋 龍 口 和 也 岩 崎 悟 光 澤 武 羽 生 義 雄
 宮 内 み は る 桧 田 す が 林 俊 子 遠 山 速 水
 撮影時欠席者 唐 沢 四 郎 松 下 善 一 安 藤 政 臣 水 野 忠 雄 小 宮 昭 美 片 桐 彦 宣



タイムカプセル開封

まには、いつも高森町を温かく見守っていた
 だき、ありがとうございます。
 さて、高森町は今後人口が緩やかに減少し
 高齢者人口割合は増加する少子高齢化が進ん
 でいくことが予想されています。人口減少へ
 の対策として、町では地方版総合戦略である
 「日本一のしあわせタウン総合戦略」を策定
 し、包括的な子育て支援や、Uターン施策な
 ど、人口増へ向けた事業を実施し、町民一人
 一人が経済面はもちろん、子育てや介護など
 の様々な生活不安を解消し、安心して暮らせ
 るよう取り組んでいきたいと考えております。
 特に子育ての面では、山吹の丸山公園の一角



高森会の
担当者から

「ふるさと便り」

高森町役場 経営企画課

みらい創生係主任 高田 光 祐

昨年より経営企
 画課のみらい創生
 係を務めさせてい
 ただいております。
 高田光祐と申しま
 す。高森会の皆さ
 ん、今年も十一月十八日(十九日)
 「高森まるごと収穫祭」を開催します。ま
 た高森町町制六十周年記念として、タイム
 カプセル開封式やフォレスト上沼純子さん
 や昭和音楽大学によるコンサートなど、イ
 ベントも開催いたしますので、ぜひ高森会
 の皆さまにお越しいただけますよう、お待
 ちしております。
 結びに、高森会の益々のご発展と、会員
 の皆さまのご健勝とご多幸をお祈り申し上
 げ、拙筆ではありますが、ご挨拶とさせて
 いただきます。



フォレスト上沼純子さんや
昭和音楽大学によるコンサート

会員交流会

観光バスによる

横浜人気名所巡りと中華街での昼食会

行事担当 平沢 洋

平成二十八年七月十二日(火)。黒い雲に覆われ、天候の心配もありましたが、19名の参加により行われました。集合場所・時間は横浜駅東口、約東の9時20分を少し過ぎたころには参加予定者が揃い、定期観光バスに乗り込みました。

ベイサイドライン半日コースと銘打たれていてバスガイドの案内で、ランドマークタワー69階の展望フロアへ、振動の少ないエレベーターで一気に273mの世界。この頃になると天気も回復し、靄が有りましたがベイサイドを見降ろし360度



の景色を楽しむことが出来ました。

港みらいの名所「赤レンガ倉庫」を眺め、歴史的な建造物である「横浜三塔」と呼ばれる「神奈川県庁(昭和三年建造)」、「横浜税関(昭和 年建造)」、「開港記念館(大正六年建造)(関東大震災で屋根が崩壊したが復元し本体は当時の面影を残しています。)を車窓より巡りました。この三塔を巡ると願いが叶うと云う都市伝説があります。皆さん願いが叶うと良いですね。

それから、港の見える丘公園からも開港百五十七年の港を眺め記念撮影。山手西洋館を見学、バスでベイブリッジを往復。そして「大栈橋客船ターミナル」を散策、海の上に出た先端では心地良い海風に吹かれてそろそろお腹が空いてきたころ、指定の中華街「同發別館」で昼食。私たち高森会は横浜交通局の配慮で個室での会食となりました。光澤会長の乾杯で、ビール・紹興酒も追加注文して

中華料理を楽しみました。会食後は中華街を散策、1時半には解散となりました。手みやげには、中華街ならではの大月餅や豚まんなどを買いました。次回ももっと多くの方が参加して頂ける様になることを願っています。

ふるさと春・秋の農作業支援

埼玉支部 龍口昭人

ふるさと農作業支援、昨年秋季の市田柿収穫作業支援につきまして、十月二十九日から十一月六日の間、都合13名が参加しました。参加メンバーは、経験を重ねた元気な男性ばかり。肩に籠を掛け、脚立の登り降りには結構体力を消耗しますが、ブランド商品市田柿が年末に届くのを楽しみに、朝方霧、露があってもナッパズボンを履いて頑張りました。

次に、今年春のりんご一輪摘花作業支援は、ゴールデンウィークの二十八日から七日までが援農集中期間で、町の営農支援センターの話では全体で89名の支援参加者が入ったとのこと、高森会は22名の有志が参加



高齢者グループ有志達
小平班・龍口班一緒に研修所 桜の木の前で

しました。花咲き具合は、四月はまだつぼみが多く、後半三日以降一気に咲きました。精力的に作業をしてきました。

支援者と受け入れ農家・町関係者による交流懇親会は、三日夜研修センターで予定されていましたが、取り止め。これは、石川県や福井県などから集まった小中学女子相撲クラブの面々が、飯田松尾相撲場での合宿による宿泊場所になったことでした。お陰さまで四日の夕食には、食堂で彼女らと一緒にちゃんこ鍋料理のご相伴にあずかり楽しいひと時となりました。

りんご一輪摘花作業



柿取り作業

会員 広場

高森町の思い出

東京第一支部 原田和昭



昭和四十二年春
名古屋へ就職先が
決まった私は、両親・兄弟に見送られ、市田駅から単

身飯田線に乗りました。柳ごうりと布団袋、それと両親の思いが詰まった背広一着が生活道具の全てでした。

振り返れば既に五十年が経過し、最近思う事は、ふるさと高森町です。

そこで今回の原稿依頼を機に久しぶりに昔の写真をながめてみました。懐かしい幼稚園時代の写真、小学校入学当時や桜満開の校庭で食べるコッペパン、修学旅行で行った初めての海、潮干狩りなど五十年以上前の風景が鮮やかに蘇ってきました。一緒に写っている友達の姿が当時へタイムス



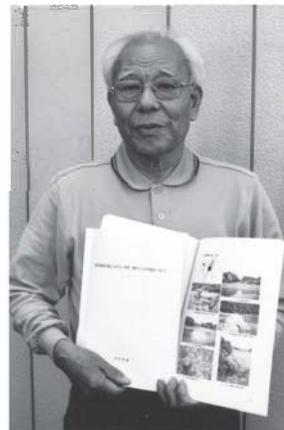
リップしたかの様に思い出されます。

さて私の全ての原点は、雄大なアルプスの山々に囲まれ、なかを流れる天竜川など恵まれた自然環境と心温かい人々に育てられた高森町の生活であり、特に苦勞の連続で育ててくれた今は亡き両親、それに兄弟には心から感謝しています。決して物が豊かでは無かったけれど、学校帰りに友達と唇を紫色に染めて食べた桑の実・蜂の巣を捕ってその場で食べ、いなごやひびの煮たのが弁当のおかずだった事。ゴムまり一個で日が暮れるまで友達とした野球、桑の枝で作った刀でチャンバラごっこなど、十分満足な時代であったと思います。

最近「女城主 直虎」を毎週楽しみに見えておりますが、このすばらしいふるさと高森町や南信州に生まれた事を誇りに、今後地元のために役立てるような活動が出来るかと考えております。

「鹿沼と東京の繋がりが」

外周支部 北原春義



私は大学卒業後、栃木県庁に奉職し、主に農務畑を勤めてきました。鹿沼市内に住んでもう五十年余になります。仕事柄水流水流やそれに密接に関係する地形に関心を持ってきており、十数年前より鹿沼市の台地上の谷津地形について調査を始めました。

谷津地形とは、上の台地から下の台地面に水が流れ落ちる場所のできた地形で、半月形や馬蹄形の窪地・谷底に湧水、そこに続く湿地・沼・緩い川の流れを含んだ地形景観を指しますが、調査は近年の開発が地形の集配水機能や景観にもたらした変化を確認したもので、四年前にまとめ上げたレポートは、開発への技術資料等への活用の他に、郷土資料として図書館にも保管して頂いています。

この調査がきっかけで東京との繋がりができました。東京には既に「スリバチ学会(会長 皆川典久氏)」と

いう同好の会が活動しており、ここと連携ができ、昨年十二月に当鹿沼市で交流研修、又、四月には武蔵野台地のツアーに参加してきました。

井の頭線神泉駅集合、JR渋谷駅西のエリアを回り、笹塚駅迄10km程散策してきました。たまたま唱歌「春の小川」に唄われた川骨川跡(代々木四)やその周辺では、川の面影は十分想像できました。鍋島松濤公園や製品評価機構内の溜池は、殆ど原形が保たれており感一人でした。

一方旗洗池(本町一)のように街角に記念碑を残すのみの所もあり、それぞれの姿を見て、東京の極相と鹿沼の原形が時系列で繋がりを覚えました。

都内に多い谷・田の地名は、この地形に由来しているようです。開発には自然の地形が有する潜在力に充分配慮し、生かしていく知恵が必要であると感じている昨今です。



鍋島松濤公園内の池

ふるさと高森町への思い
埼玉支部 気賀沢明子



街のあちこちから富士山が見えるというところでこの名前が付けられたというのですが、私の家からも冬の晴れた日には白銀の美しい富士山が眺められます。

今は、二人の子供も独立し、主人と二人暮らしです。すでに70歳を超えましたが、元気にコーラス・オカリナ演奏などの趣味を楽しみ、地域のボランティア活動にも参加したりして、それなりに充実した日々を送っています。

ふるさと高森町を出て四十数年、歳を重ねがさねふるさとに対する思いが強くなっているように思います。

東に南アルプスの山々、西に風越山など、たまに帰ったときに眺める景色はとても懐かしく、ホッとした気持ちにさせてくれます。

高森町は、もともと「市田柿」発祥の地として有名ですが、今年のNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」で、下市田の松源寺が井伊家と関係があったことが伝えられ、その松源寺・松岡城址から眺める町の景色がテレビにも映し出されて名前が広がり、訪れる観光客が多くなったことを聞き嬉しく思います。

私は、結婚して大分・大阪・東京で過ごした後、二十年ほど前から埼玉県富士見市で暮らしています。この市は、

も、子供のころ、高森町の豊かな自然の中で、伸び伸びとたくましく育ったお陰と感謝しています。これからも、ふるさと高森町を大切に想いながら過ごしていきます。



私の住んでいる町
神奈川支部 木村 勇



私の住む横浜市緑区中山町は、JR横浜線の中山駅を中心にした、まだ多少農地の残る静かな住宅

地区です。私の町では防災放送システムのメロディーを流す他、自治会からのお知らせや警察からの「振り込め詐欺」予防情報等を流しています。この取り組みは横浜市中でも騒音問題や聞き取れない地区の問題があつて難しいようで、テストケースとして注目を集めています。

もう一つ町の取り組みとして、災害の時に目で各家庭の被害状況を確認できるように「無事です」というリボンを家の前に掲げる取り組みをしています。これにより一件一軒尋ねなくてもリボンの出していない家だけ確認すればよく、効率が良くなります。

近くには自然の里山をそのまま残した「神奈



川県立四季の森公園」があります。私の家からも15分位で歩いて行ける所なので毎朝5時頃から7時頃までウォーキングとラジオ体操に行っています。池や芝生広場・遊具広場・展望広場などがあり、家族連れで楽しめる所です。春は桜・辛夷・花桃・ヤマボウシ等が咲き、初夏には花菖蒲やオタルも見られ、秋は紅葉が楽しめます。特に桜は園内に数種類の樹が点在しておりお花見の名所になっています。

更に、すぐ近くに横浜動物園「ズーラシア」があります。アフリカの熱帯雨林、亜寒帯の森、熱帯サバンナ等をイメージした施設で、動物たちの生息環境が見られるようになっています。常にいろいろなイベントを開催していますから、お出かけになられたらいかがでしょうか。

高森俳壇

酒井弘司・選

吉川 照峰

人目引く手鞠模様の君子蘭
夏隣ブルーゲンビリアの乱れ咲
風立ちて網戸の外はすだく虫
ここそこに匂い漂う金木犀

木村 勇

寒戻りふきのとうもしもやけに
目を凝らし穂先を探して筍採り
梅雨寒に袖の長さで迷う朝

光澤 武

春きたが今年はウグイス声きけず

林 璋

収集車積み残したる春の雪
てにをはを置き換へてみる朧かな
焼芋を喰ふ失恋の癒ゆるまで
ソユーズの降りて枯野の目覚めけり
突っ風吹いてところは無一文
暮敵は先端技術冬うらら

松下 善一

万緑に囲まれ庭で昼寝する
孫に手を引かれて春の遊歩道
病む友の手紙に春の句を添える
公園の母子春景に染まりおり

田中 くに子

鶴沼蘭人の行き交ふ木下閣
平林寺茅葺屋根に花の散る
浄水場無人となりてさくらんぼ

羽生 義雄

亀之丞匿し寺の桜かな
初夏の旅車窓懐かし伊那の山
手を合す先祖の墓にさつきかな
総会も少なくなりて蛙飛べ

小宮 昭美

霜柱ここちよい音引き返す
寒梅が見事に咲きし笑顔なる
園服の採寸終えて春近し
家族の日鉛筆削る一年生
綿入れは母の手作り手放せず

(選評)

○吉川さん―「ここそこに」の句。「こ
こ」と「そこ」を一緒にして、身辺を
指示しているところ、うまいですね。
○木村さん―「梅雨寒に」の句。思案
のひとときを「迷う朝」と、うまく置
かれました。さりげなさが、よく生
きた一句。

○光澤さん―「春きたが」の句。
わたしたちは、多くのへいのちと一
緒に生きていますが、新しい季節に
なつて「ウグイス」の音が聞こえない
のは淋しいですね。

○林さん―どの句も完成されていて、

読んだ人の胸に、すんと入ってき
ます。

「てにをは」の句。一句を作る努力
は、助詞一つとっても神経を使うも
のです。

○松下さん―「病む友の」の句。そつ
と、一句を添えることで、友の気
持ちはやわらぐことでしょう。

癒しには、音楽療法がありますが、
俳句も療法の一つといえます。

○田中さん―「浄水場」の句。桜が満
開であった頃とちがって、「さくらん
ぼ」の季節。時節を的確に捉えてい
ます。

○羽生さん―「亀之丞」の句。故郷・
高森町の松源寺を訪ねての一句でしょ
う。「おんな城主 直虎」はNHKの
総合テレビで大河ドラマとして放送
されていますが、直虎のいいなすけ
が「亀之丞」。

下句の「桜かな」が風情を添えます。
○小宮さん―「綿入れは」の句。お母
さんの愛情が、たゆたうように伝わっ
てきます。恩愛の一句。

*

一年に一回の「高森俳壇」ですが、
投句される皆さんの名前を伺っていま
すと、いつもの顔ぶれ。元気で活躍さ
れていることが、なによりです。

「選評」でもすでに触れましたが、俳
句は人のこころを癒す大きな力をもっ
ています。世界で、もっとも短い文学

形式ですが、自分のこころを、そこに
表出することによって癒されるのです。
季節に自分の気持ち添えて、これか
らも、ぜひ、続けてください。

そして、何年にもわたってつくった
自分の俳句は、立派な自分史でもあり、
宝物でもあります。

この六月、わたしは故郷の高森町の
生家を訪ね、NHKの大河ドラマ「お
んな城主 直虎」の松源寺と松岡城址
を訪ねました。

ふるさとよさを、しみじみと感じ
ました。

青信濃

酒井弘司

呼べば応えるこだまは幾重青信濃
郭公が来ている昼すぎの生家
大気ながれ人立ちどまる麦の秋
青田はや南へひらけ伊那の空
産土の夜蛙地べたよりひびく



松源寺の桜

ふるさと自慢

大河ドラマ「直虎効果」で
ふるさとが大観光スポットに！
南信州高森町の取り組み

高森町役場経営企画課

「おんな城主 直虎」は、二〇一七年一月八日に放映スタートしました。高森町は主人公「直虎」の許婚「亀之丞・井伊直親」が過ごしたゆかりの地です。

一五四四年(天文十三年)年、井伊直満は今川義元に謀殺され、直満の長男亀之丞(9歳)の命も危険となりました。今川の追っ手を逃れるため、家来の今村藤七郎が背負うカマスの中に隠れ、故郷の井伊谷(いいのや)現在の浜松市引佐)から、洪川東光院へと脱出し、一五四五(天文十四)年、東光院の能



松源寺観光風景



亀之丞御膳

家存続の危機を救いました。徳川家康の家臣として出世した直政は、一時は断絶の危機にあった井伊家を見事再興、井伊家は幕末まで続きました。

仲和尚の案内で信州市田郷の松源寺へ落ち延びました。今村藤七郎とともに松源寺にたどり着いた亀之丞は、住職から学問を教わって成長。一方の井伊谷では、事情を知らず亀之丞の死を

確信した許嫁(直盛の娘のちの直虎)は、出家して「次郎法師」と名乗りました。当時の信州市田郷を支配していた松岡氏の領主・貞利は、亀之丞を保護し、堅固で雄大を誇る松岡城の侍たちに、武術や弓馬の稽古をつけさせました。やがて青年となった亀之丞が故郷をしのんで奏でた愛笛「青葉の笛」の音がこの地に響いたといえます。笛を教えたもらった「お千代」とは深い仲となり、一子もうけたといわれています。20歳の亀之丞は、井伊谷に戻り井伊直親を名乗りました。嫡子・虎松(のちの井伊直政)をもうけるが、27歳で非業の死を遂げます。そこで次郎法師が「女城主 直虎」として虎松を後見し、井伊

高森町では、浜松市等と連携して大河ドラマを盛り上げ、誘客・おもてなし・交流人口の増加を図るため、町ぐるみの取り組みを、平成二十八年七月から本格的にスタートしました。平成二十八年八月に、直虎ゆかり・誘客おもてなしプロジェクトの参加者募集と推進会議を



ロゴマーク

発足しました。直虎の命日八月二十六日には、浜松市での「直虎フォーラム」に参加。浜松市や高森町・御前崎市等を含む全国九の市・町が連携してドラマと地域の振興、交流に取り組むことを相互に確認しました。九月から、東京・大阪・名古屋での「長野県旅行商品造成商談会」に参加し、都市圏の旅行事業者やメディア等に対し「直虎ゆかりの地」としての観光素材セールス活動を展開。十一月公式ロゴマークが決定し、町内には約350本の「直虎ゆかりの地」のぼり旗(赤備え)が掲示されています。十二月公式パンフレット2万部、ポスター200枚が完成し、各所に配布、掲示されています。

テレビなどで、高森町の観光誘客・地元ガイドの活動の様子などが紹介されるようになりました。

最近の高森町は、二月五日の放映翌日以降、それまでも徐々に増えつつあった「ゆかりの地」への来訪者が急激に増えました。これまで、昨年十二月から今年六月末までに、松源寺や松岡城址を訪れた観光バス等(募集型ツアー・団体旅行など)は、約750台・件を数えます。(※事前予約により、10名以上団体またはバス一台にガイド1名が約50分間ご案内。ガイド料プラス駐車料3千円/一台(団体)あたり)。

バス等の観光客には、地元有志の案内ガイド20名余の皆さんが、直虎との「ゆかり」をはじめ松源寺・松岡城址などを丁寧に案内。市田柿など特産品のPRにもぬかりありません。

この、温かい「声と笑顔のおもてなし」は、直虎ゆかりの地バスツアーの目玉/しっかりと予習して創意工夫に努めるガイドの皆さん、秋の行楽シーズンでも活躍が期待されます。



浜松市でのイベント

銀座セントラル法律事務所

弁護士 下井 善 廣 下市田5区出身
昭和33年 高森南中学校卒業

〒104-0061
東京都中央区銀座1丁目7番6号
タニザワビル9階
TEL:03-3564-5066 FAX:03-3567-5760

TKC
コンピューター会計

中川税務会計事務所



税理士 中 川 正 文 (山吹中出身)

〒170-0013 東京都豊島区東池袋一丁目31番10号
ドミール池袋807号
電話 03(3590)7331番
FAX 03(3590)7438番
e-mail:nakagawa-masafumi@tkcnf.or.jp

ギャラリー 伊 那 谷

- ・写 真 ・古美術
- ・伊那谷ウォーキング会
- ・高森で週末故郷暮らしの会

大 沢 章 雄 (下市田3区出身)

〒252-0021 神奈川県座間市緑ヶ丘3-29-14
電話・FAX 046-253-8133
携帯 080-5420-8133

郷里へのお土産は
浅草は、仲見世

な かつ か で

雷おこし、人形焼をどうぞ
仲見世通り左側奥です

中 塚 隆 蔵 (吉田地区出身)

〒111-0032 東京都台東区浅草1-37-1
TEL 03-3843-4455

●高森出身の方は、多少サービスさせていただきます。

医療法人 社団 慈生会 梶ヶ谷クリニック

院 長 羽 生 仁
副院長 羽 生 健
" 羽 生 友起子
理 事 羽 生 桂 子 (上市田出身)

〒213-0013 川崎市高津区末長163-1 TEL 044-877-0608
田園都市線 梶が谷駅下車3分

メディカルサポート フィットネスクラブ 併設 (同ビル内)

は に ゆ う 整 形 外 科 院 長 羽 生 亮

〒343-0823 埼玉県越谷市相模町3-1391-1 TEL 048-961-5577



お待ちしております

ふるさと南信州高森町出身の新しい若い仲間をお誘いして、更に魅力ある高森会づくりを進めましょう。

入会お誘い キャンペーン実施中

| 年齢 | 人数 | 性別 |
|-------|----|----|
| 90歳以上 | 5 | 男 |
| 89歳 | 2 | 男 |
| 88歳 | 1 | 男 |
| 87歳 | 1 | 男 |
| 86歳 | 1 | 男 |
| 85歳 | 1 | 男 |
| 84歳 | 1 | 男 |
| 83歳 | 1 | 男 |
| 82歳 | 1 | 男 |
| 81歳 | 1 | 男 |
| 80歳 | 1 | 男 |
| 79歳 | 1 | 男 |
| 78歳 | 1 | 男 |
| 77歳 | 1 | 男 |
| 76歳 | 1 | 男 |
| 75歳 | 1 | 男 |
| 74歳 | 1 | 男 |
| 73歳 | 1 | 男 |
| 72歳 | 1 | 男 |
| 71歳 | 1 | 男 |
| 70歳 | 1 | 男 |
| 69歳 | 1 | 男 |
| 68歳 | 1 | 男 |
| 67歳 | 1 | 男 |
| 66歳 | 1 | 男 |
| 65歳 | 1 | 男 |
| 64歳 | 1 | 男 |
| 63歳 | 1 | 男 |
| 62歳 | 1 | 男 |
| 61歳 | 1 | 男 |
| 60歳以下 | 2 | 男 |
| 50歳以上 | 5 | 女 |
| 49歳 | 1 | 女 |
| 48歳 | 1 | 女 |
| 47歳 | 1 | 女 |
| 46歳 | 1 | 女 |
| 45歳 | 1 | 女 |
| 44歳 | 1 | 女 |
| 43歳 | 1 | 女 |
| 42歳 | 1 | 女 |
| 41歳 | 1 | 女 |
| 40歳 | 1 | 女 |
| 39歳 | 1 | 女 |
| 38歳 | 1 | 女 |
| 37歳 | 1 | 女 |
| 36歳 | 1 | 女 |
| 35歳 | 1 | 女 |
| 34歳 | 1 | 女 |
| 33歳 | 1 | 女 |
| 32歳 | 1 | 女 |
| 31歳 | 1 | 女 |
| 30歳 | 1 | 女 |
| 29歳 | 1 | 女 |
| 28歳 | 1 | 女 |
| 27歳 | 1 | 女 |
| 26歳 | 1 | 女 |
| 25歳 | 1 | 女 |
| 24歳 | 1 | 女 |
| 23歳 | 1 | 女 |
| 22歳 | 1 | 女 |
| 21歳 | 1 | 女 |
| 20歳 | 1 | 女 |
| 19歳 | 1 | 女 |
| 18歳 | 1 | 女 |
| 17歳 | 1 | 女 |
| 16歳 | 1 | 女 |
| 15歳 | 1 | 女 |
| 14歳 | 1 | 女 |
| 13歳 | 1 | 女 |
| 12歳 | 1 | 女 |
| 11歳 | 1 | 女 |
| 10歳 | 1 | 女 |
| 9歳 | 1 | 女 |
| 8歳 | 1 | 女 |
| 7歳 | 1 | 女 |
| 6歳 | 1 | 女 |
| 5歳 | 1 | 女 |
| 4歳 | 1 | 女 |
| 3歳 | 1 | 女 |
| 2歳 | 1 | 女 |
| 1歳 | 1 | 女 |
| 0歳 | 1 | 女 |

●高森会年齢別ピラミッド
(二〇一七年度)

会員の現況

| 支部 | 会員数 |
|------|-----|
| 東京第一 | 46 |
| 東京第二 | 23 |
| 神奈川 | 55 |
| 埼玉 | 34 |
| 千葉 | 25 |
| 外周 | 12 |
| 合計 | 195 |

(平成29年5月現在)

会員動向

新入会員紹介

○神奈川支部

塩澤 烈子(旧姓座光寺)／山吹中
川崎市麻生区

お知らせ掲示板

◆第二十九回定期総会・交流懇親会
日時 平成三十年五月二十六日(土)
場所 台東区民会館(予定)
みんなで誘い合って参加して
ふるさとの絆を上げませんか！

◆ふるさと農作業支援活動

秋季 十月下旬～十一月月上旬
市田柿収穫作業など
春季 平成三十年四月下旬～
五月上旬

りんご摘花作業など
宿泊「森の家」交流センター
詳細は、担当の龍口昭人氏へ
☎042-9998-2667

◆ふるさと訪問旅行

「高森まるごと収穫祭」見学と
りんご狩り・名湯一泊旅行
日時 十一月十八日(土)～十九日(日)
詳細案内は、九月発送の会報に同封
します。

◆会員交流会

カラオケ体験会・名所散策等
会員健康長寿型メニュー企画中
ご期待下さい。(行事担当)

ゴルフ同郷会

ゴルフ好き集まれ！



日本一楽しいゴルフ会 春・秋開催中
窓口・行事担当 平沢 洋 ☎045-541-6798

表紙の写真説明

今年のNHK大河ドラマ「おんな城主直虎」で、ふるさと高森町が話題となりました。特に、下市田の「松源寺」は川氏から命を狙われていた亀之丞が十数年を過ごした寺として知られています。写真はその松源寺の山門。秋の鐘樓の柿すだれ、春の門前桜は見ものなり。

裏表紙の説明

今号は埼玉支部の担当です。早々と二〇二〇東京オリンピック・パラリンピックの話題です。主要競技が埼玉県内各所で開催されるとのこと。開催まで三年足らず。高森会員の皆様、元気で健康な体力づくりに励み、フル観戦に挑戦しましょう。

編集後記

私事だが、ついに後期高齢者入り。無性に「ふるさと」という言葉に引かれ、以前にもまして郷愁に駆られる。◆今春の町の広報紙「議会だより」(131号)の表紙写真を見て驚いた。高森北小入学児童数僅か4人。遂にふるさとでも、真実を学校に確認したら24名とのこと。取り敢えず安心。しかし我々の時代は約100名はいた。◆近年、「限界集落」という言葉が注目されている。65歳以上の高齢者が人口の50%以上を占め、社会的な共同生活の維持が困難となり、社会単位としての存続が危ぶまれる集落。今や、日本全体が少子高齢化の局面にあり未来が憂鬱となってしまう。◆総会時に、高森町ではこの問題に諸策を講じ頑張っているとの報告があった。折しも「直虎効果」「リニア効果」そして日本一の「健康長寿」等、他の町には無い好材料がある。ふるさととは「明るい」。◆当高森会員の平均年齢が76歳となってしまう。若い世代の加入者も無く正に「限界集落」状態。会員みんなで「頭と体を」使った交流会を通じ「限界理論」を吹き飛ばそう！

(編集委員長 岩崎邦彦)

会報編集委員

- 編集委員長 岩崎邦彦(東京第一)
- 副委員長 龍口和也(埼玉)
- 編集委員 岩崎 悟(千葉)
- 編集委員 松下善一(東京第二)
- 編集委員 宮内みはる(埼玉)

埼玉支部小景

県内の東京2020オリンピック会場の紹介



←さいたまスーパーアリーナ

さいたま市中央区新都心8



空から撮影したさいたまスーパーアリーナ。周辺は「さいたま新都心」として整備されています。

競技種目と日程

- バスケット さいたまスーパーアリーナ
2020年7月25日～8月9日
- サッカー 埼玉スタジアム2002
2020年7月22日～8月8日
- ゴルフ 霞が関カンツリークラブ
男子 2020年7月30日～8月2日
女子 2020年8月 5日～8月8日
- 射撃 陸上自衛隊朝霞訓練場
2020年7月25日～8月2日



空から撮影した
埼玉スタジアム2002



客席からピッチまでの距離
が近く、迫力の試合観戦が
楽しめます。

↑埼玉スタジアム2002

さいたま市緑区中野田500



←霞が関カンツリー倶楽部

川越市大字笠幡3398